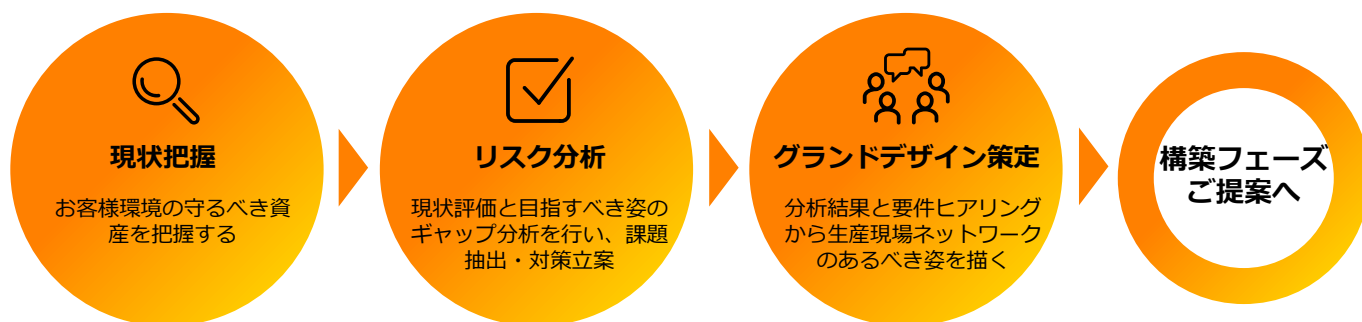


リスクを可視化し、工場DXを推進 生産現場の現状把握から未来のロードマップ策定まで サポート

近年、セキュリティ脅威の増加やデータ活用に向けた工場DXが進むなか、OT（Operational Technology）ネットワーク／セキュリティの将来像を描くうえでまずは「守るべきものは何か」を明確化し、次にそれらを「どう守るのか」を検討することが必要です。富士通は、お客様生産現場の実情を把握するとともに、想定されるサイバーセキュリティリスクとその対応策の立案、それらを踏まえた生産現場ネットワークのあるべき姿とロードマップの策定を支援します。



OTネットワーク／セキュリティ対策の検討において、 こんなお困りごとはありませんか？

生産現場の現状が わからない

IPアドレス一覧はあるが、新規払い出しの際に追記するだけですべて存在しているのかわからない。
管理図面等のドキュメントはあるが、メンテナンスされず更新日が数年前のままで、現状と合致しているかわからない。

セキュリティ対策に向けて 具体的に実施すべきことが わからない

漠然とした不安はあるが、どんな対策を実施すべきかわからない。
他社事例など情報収集するが、自社環境における有効性がわからない。

どこまで実施すべきか わからない

OT環境のセキュリティについて検討を行っているが、レガシー端末の対処、ネットワーク分割、セキュリティソリューション選定など、最適なセキュリティ対策がわからない。

お客様OT環境の現状把握と、各種ガイドラインとノウハウを基にした想定リスクと対策立案を通じて
お客様生産現場の最適なネットワーク／セキュリティ環境のあるべき姿を策定します

サービスの特長

1

工場の資産や通信の把握を
短時間で実施

ツールを使用することでOT資産の現状把握を短時間で実施します。

利用するツールはネットワーク構成を変えることなく簡易的に導入可能です。

2

ガイドラインに即した
セキュリティ診断

セキュリティガイドラインをもとにしたヒアリングシートを準備し、技術や人的対策なども含めたセキュリティ対策状況を網羅的に確認します。

3

お客様の環境に合わせた
グランドデザインの策定をご支援

各種ガイドラインの内容や社内外の事例ノウハウを活用し、お客様課題に対するネットワークモデルやセキュリティ対策のあるべき姿を策定します。

関連情報

✓ [Professional Security Services](#)

お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせは[コチラ](#)

富士通株式会社 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

